



あっという間に夏休みも終わり。皆さんはどんな夏休みを過ごしましたか？

夏休みの放課後子ども教室は、いつもより長い時間を少ない人数で過ごすことによって、新しいことを発見したり、友達とじっくり向き合い、協力して何かを作ってみたりと、とても充実した日々となりました。今回は、8月に行なった「流しそうめん」と「科学にチャレンジ」の様子をご紹介します！

8月の猛暑の中、みんなで力をあわせて流しそうめん作りを行ないました。

根府川郵便局の廣井局長さんにご協力いただき、立派な竹をいただきました！

みんなでこの太い竹を半分に割ります。手すりを使って、みんなで息を合わせると、見事2つに割れました。



次は、竹のフシを金槌でトントン。「きれいにとらないとそうめんが流れないよ〜！」と言われ、みんなで一生懸命にとりました。

そして、流しそうめんに必要な「めんつゆ」づくり。片小の先輩でもある「きのこ苑お山のたいしょう」の佐久間孝子さんからプロの味を学びます。



「いくよ〜！」のかけ声で、流しそうめんが流れます。こんなに長い流しそうめんができました！子ども達だけでなく、オトナも楽しい1日となりました！



ご協力いただきました、地域のみなさん、保護者のみなさん、ありがとうございました！

今年、初の試みとなった「科学にチャレンジ」。24人の児童が参加し、横浜にある県立青少年センターへバスで行きました。

1、2年生は、レインボースコープや万華鏡作りに挑戦。水の実験では、モールでアメンボを作って水に浮かせるなど、様々な実験をしました。

子どもたちの「わー！」「すごーい！」の発見の声が教室中から聞こえました。



一方、4～6年生はロボットプログラミングに挑戦。ロボットがマス目を前進、曲がるなどのタイミングを自分でプログラムします。試しては調整の連続。1人1人真剣に取り組んでいる姿が印象的でした。



学校での学びとは違った視点で学ぶことができた1日。最後の感想では、「失敗しても何度もチャレンジすることの大切さがわかった」とありました。

興味関心が刺激される1日となりました。来年もぜひ、行きたいですね！！

教室からの注意事項

暑い日が続きますので、着替えや水筒、タオル、帽子などを持って来て下さい。

児童を預かり、お帰しするためにも、カードの記入漏れや、保護者印の押し忘れが無いようお願いいたします。